

令和7年度

# 適 性 検 査 C

注 意

- 1 問題は [1] から [3] までで、6ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は45分間です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙**だけ提出しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **受検番号**は解答用紙の決められた欄<sup>らん</sup>3か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立大宮国際中等教育学校

太郎さんの学校では、体力づくりに関する取り組みを始めようとしています。太郎さんは、取り組みを提案しようと、生活習慣と運動習慣が体力づくりにどのように関係しているか調べ、発表に向けた準備をしています。

以下の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

先生：太郎さん、発表原稿の準備はできていますか。

太郎さん：はい。私は、最近、生活習慣と運動習慣が、体力づくりに大きく関係しているというニュースを見ました。そこで、生活習慣と運動習慣が体力づくりにどのように関係しているか調べたところ、「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を見つけました。この資料をもとに取り組みを提案しようと考えています。

先生：それは、どのような資料ですか。

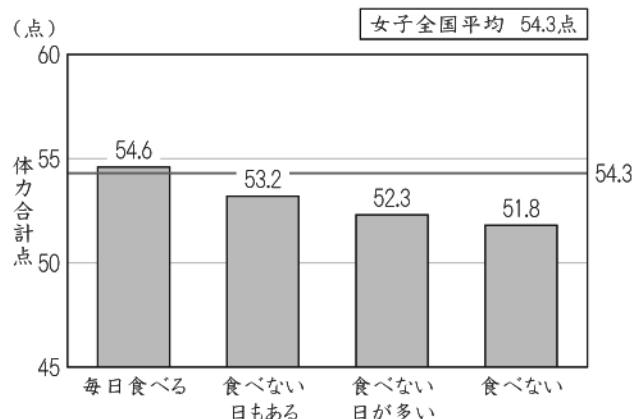
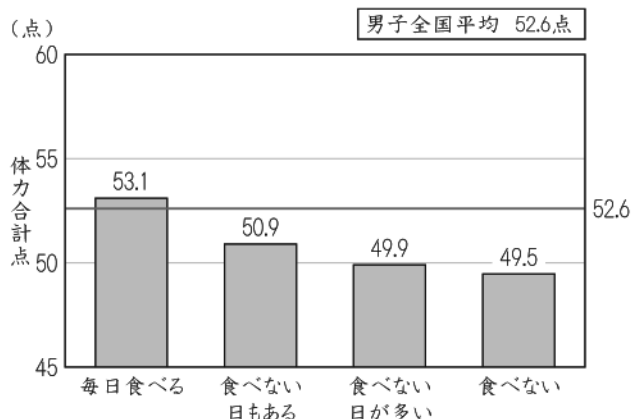
太郎さん：8種類の体力テストの成績を得点化し、その得点を合計した点数である体力合計点と、生活習慣の関係性を示した資料です。資料1から資料3を見てください。資料1は朝食の摂取状況、資料2は1日のうちのテレビやゲーム、スマートフォンの画面を見る時間、資料3は1日の睡眠時間の資料で、それぞれ体力合計点との関係をまとめたものです。この3つの資料について、資料ごとに体力合計点が最も高いものに注目して、男女両方にとって体力づくりに望ましい生活習慣が何か、資料から分かることを資料の言葉を用いてまとめようと考えています。

先生：なるほど。よく調べましたね。他にどのようなことに気づきましたか。

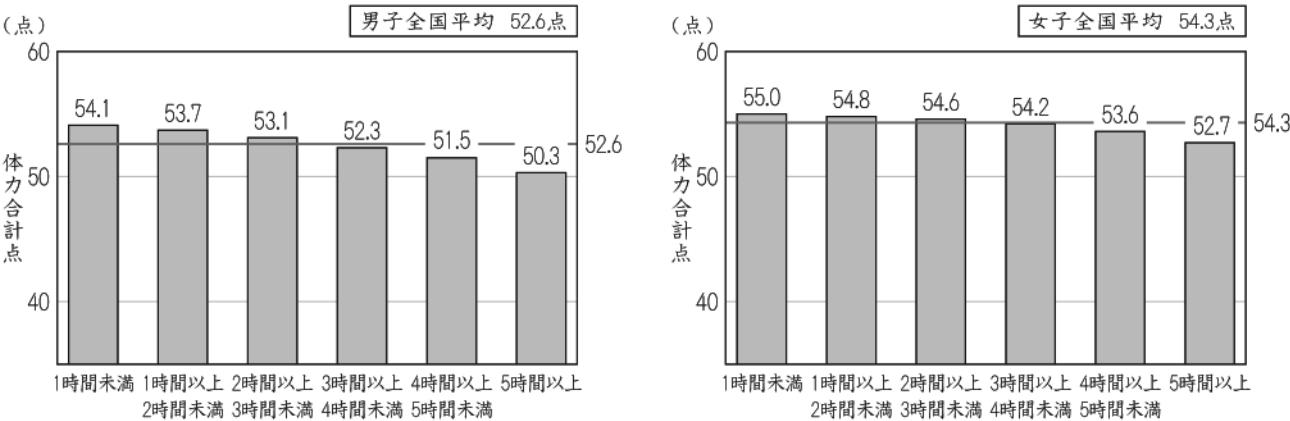
太郎さん：はい。体力づくりに、生活習慣の見直しだけでなく、運動習慣の見直しとして、日常的に運動することも大切だと気づきました。私たちの年齢だと、1日に60分以上の運動が推奨されているため、体育の授業以外でも、実際に体を動かす取り組みを増やすことが必要だと考えました。資料4を見てください。資料4は、学校での活動事例をまとめた資料です。日常的に運動するために、私たちの学校でどの活動ができるかを資料4から1つ取り上げて、提案します。また、なぜその活動が日常的な体力づくりにつながるのか、理由も述べようと考えています。

先生：太郎さんの考えはよく分かりました。素晴らしい発表になりそうですね。

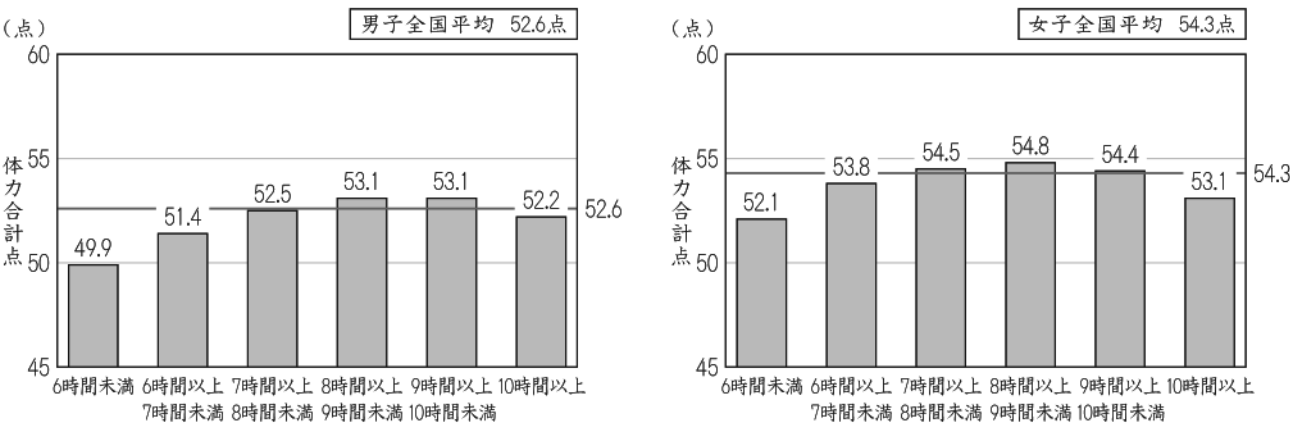
### 資料1 朝食の摂取状況と体力合計点との関係（小学5年生）



資料2 1日のうちのテレビやゲーム、スマートフォンの画面を見る時間と体力合計点との関係（小学5年生）



資料3 1日の睡眠時間と体力合計点との関係（小学5年生）



（資料1から資料3はスポーツ庁「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」をもとに作成）

資料4 学校での活動事例

●運動タイムの導入

週1回、ラジオ体操やなわと飛びなど、他学年が一緒に運動できる場を設ける。

●講演会開催

パラスポーツ選手を学校によび、障がい者スポーツについて話を聞いて実際に体験してみる。

●登校時間の活用

校庭に、フラフープやミニハードルを並べ、ステップを踏んだり跳び越える運動をしたりして登校する。

（スポーツ庁ウェブサイトをもとに作成）

問 あなたが太郎さんなら、どのような発表原稿を作成しますか。次の条件に従って書きなさい。

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は、300字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。

（例）

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 1 | . | 5 | % |
|---|---|---|---|---|

太郎さんのクラスでは、総合的な学習の時間に、「インターネットの利用」について調べ、発表に向けた準備をしています。

以下の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

先生：太郎さん、発表原稿の準備は進んでいますか。

太郎さん：はい。私たちは、授業などでもインターネットを使って情報を収集する機会が増えてきています。そこで、私は、「インターネットの利用」のうち、特に情報収集に着目して発表しようと考えています。

先生：良いですね。どのような資料を使って発表するつもりですか。

太郎さん：資料1を見てください。これは、インターネット上の事実ではない情報にアクセスした経験について調べた結果を、国別にまとめたものです。この資料の、「何が事実ではない情報か分からない」と回答した人の割合に着目すると、日本の割合が他の国より高いことが分かります。ここから、インターネット上の情報が事実かどうかを確認する方法を知らない人が多いという問題点が分かるのではないかと思います。

先生：なるほど。たしかに、インターネット上の情報を収集する上で、日本には問題があると言えそうですね。では、この問題を解決するためにどのような方法があるのですか。

太郎さん：はい。この問題を解決する方法を考えるために、資料2から資料4を用意しました。まず、資料2を見てください。これは、インターネット上で最新のニュースを知りたいときの行動をまとめたものです。この資料から、日本と他国のちがいに着目し、情報を収集するときに日本でどんな行動をするべきかを述べます。次に、資料3を見てください。これは、情報が事実に基づいているかを調査、検証する活動であるファクトチェックの認知度について調べた結果をまとめたものです。インターネット上の事実ではない情報にまどわされないためには、ファクトチェックの推進が重要です。この資料から、「知らない」と回答した人の割合に着目し、ファクトチェックの推進のために日本でどんなことをするべきかを述べます。最後に、資料4を見てください。これは、インターネット上の個人情報の提供に対する不安について、国別にまとめたものです。この資料から、個人情報の提供に対して、不安を感じると回答した人の割合に着目し、日本でどのように情報を活用するべきかを述べます。

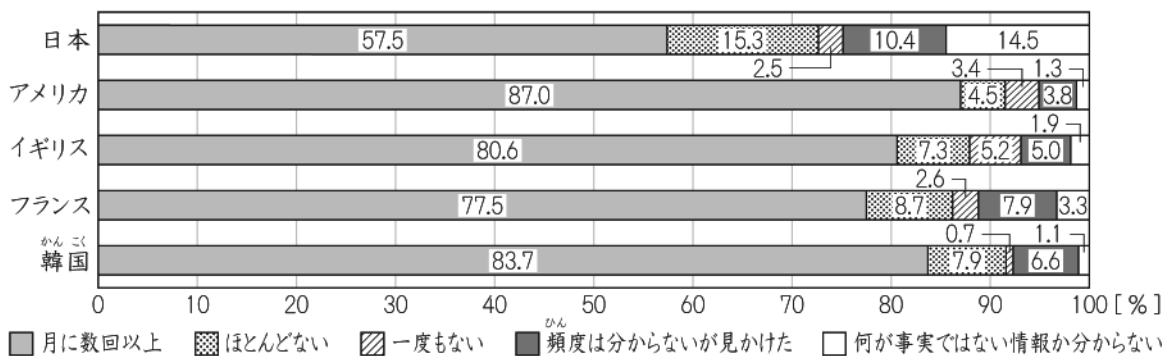
先生：なるほど。太郎さんの考えはよく分かりました。では、太郎さんが集めた資料と発表原稿の内容について、花子さんはどう思いますか。

花子さん：はい。太郎さんが、インターネット上の情報収集における日本の問題点を説明して、その問題を解決するために、どのような方法が考えられるかについて意見を述べることは分かりました。ですが、問題を解決するための方法を説明するために適切ではない資料が1つあるように思います。

先生：なるほど。では、太郎さんが用意した資料2から資料4について、それぞれの資料が、発表資料として適切か適切でないかと、そのように考えた理由について、グラフから読み取れることをふまえて花子さんの意見を分かりやすくまとめて、太郎さんに伝えてみてください。

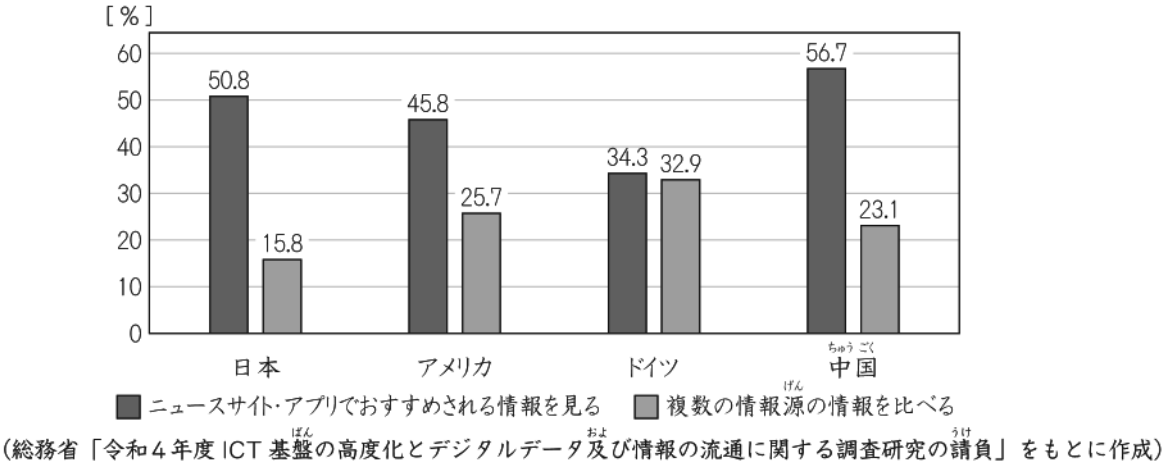
花子さん：分かりました。

### 資料1 インターネット上の事実ではない情報にアクセスした経験

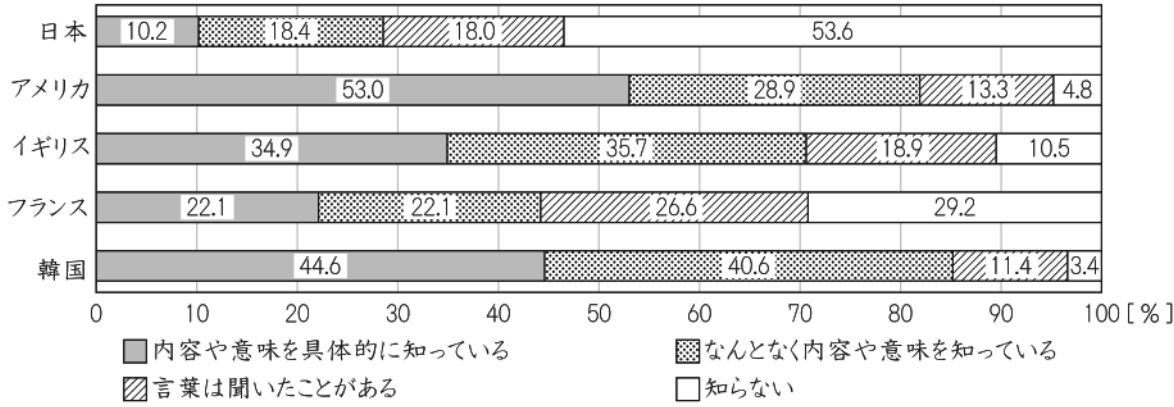


(総務省「令和4年度国内外における偽・誤情報に関する意識調査」をもとに作成)

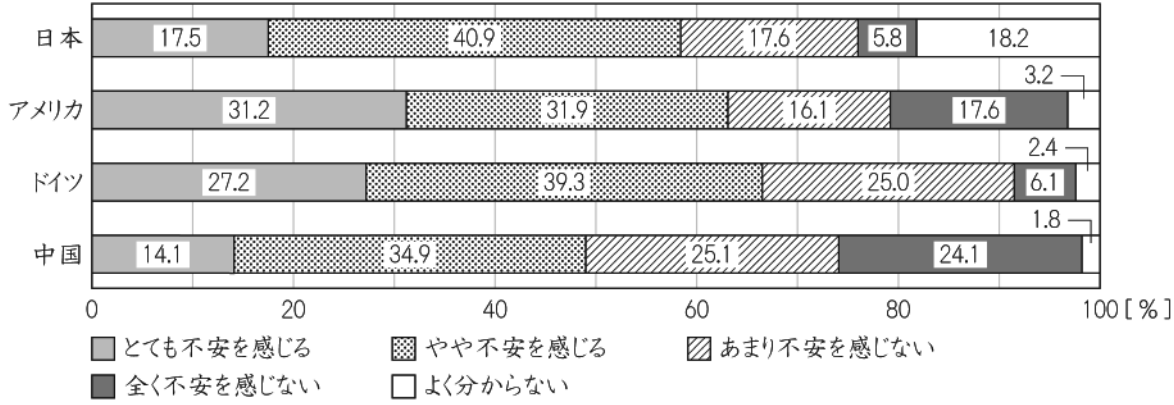
資料2 インターネット上で最新のニュースを知りたいときの行動



資料3 ファクトチェックの認知度



資料4 インターネット上の個人情報の提供に対する不安



(資料3・資料4は総務省「令和5年版情報通信白書」をもとに作成)

問 あなたが花子さんなら、どのようなことを太郎さんに伝えますか。次の条件に従って書きなさい。

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は、300字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。 (例) 

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 1 | . | 5 | % |
|---|---|---|---|---|

条件4：資料2から資料4について、すべての資料についてアドバイスすること。

花子さんのクラスでは、総合的な学習の時間に、「ヒートアイランド現象」について調べ、発表に向けた準備をしています。

以下の会話文を読んで、あとの問いに答えなさい。

先生：花子さん、発表原稿の準備はできていますか。

花子さん：はい。私は、ニュースを見て、ヒートアイランド現象というものがあることを知り、それについて調べてみようと思いました。

先生：ヒートアイランド現象とはどのようなものですか。

花子さん：ヒートアイランド現象とは、アスファルトなど人工の地面が多い「都市部」の方が、自然の地面が多く残っている「郊外」よりも気温が高くなる現象です。資料1を見てください。これは、ヒートアイランド現象の仕組みを図にしたものです。私は、この資料から都市部で気温が高くなる仕組みについて説明しようと考えています。

先生：なるほど。他にどのような資料を見つけましたか。

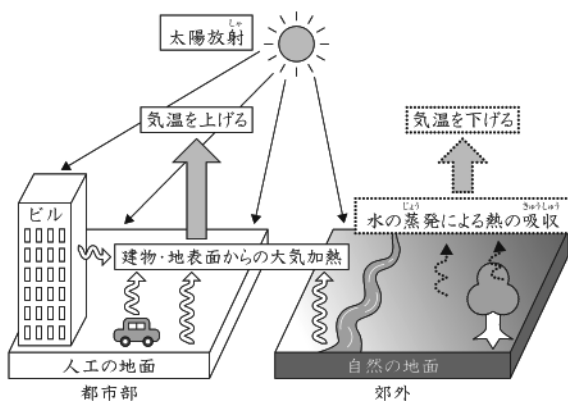
花子さん：資料2から資料4を見てください。ヒートアイランド現象をおさえるための、さまざまな対策が考えられています。資料2は、資料3にあるヒートアイランド現象の発生要因A1からCの分類区分の、さいたま市における分布を示したものです。さらに、資料3には、ヒートアイランド現象の分類区分の特徴もまとめられています。そして、資料4は、資料3の分類区分ごとの特徴に沿った埼玉県の対策をまとめたものです。私は、この3つの資料から、私が住んでいるさいたま新都心駅周辺に着目し、さいたま新都心駅周辺のヒートアイランド現象をおさえるために、特に効果的な対策について説明しようと考えています。

先生：よく考えていますね。それで、花さんは発表の最後に、どのようなことを伝えますか。

花子さん：はい。資料1から資料4をもとに、小学生の私たちが生活の中でできることを具体的に述べます。

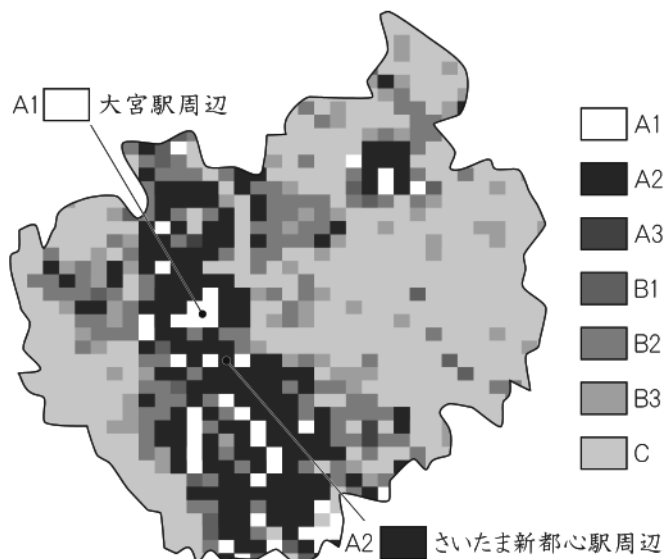
先生：すばらしい発表になりそうですね。楽しみにしています。

資料1 ヒートアイランド現象の仕組み



(気象庁ホームページ ([https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/himr\\_faq/02/qa.html](https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/himr_faq/02/qa.html)) をもとに作成)

資料2 分類区分におけるさいたま市の分布状況



### 資料3 ヒートアイランド現象の発生要因分類区分

| 分類区分 |                               |                                                             | 特徴                                                                         |
|------|-------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| A 1  | ※ <sup>1</sup> 人工地表面<br>80%以上 | ※ <sup>2</sup> 人工排熱量 <sup>はい</sup><br>20W/m <sup>2</sup> 以上 | 人工地表面が極めて多く、人工排熱量も極めて多い地域。<br>人工地表面、人工排熱量に関する対策が特に効果的な地域。                  |
| A 2  |                               | 人工排熱量<br>5W/m <sup>2</sup> 以上<br>20W/m <sup>2</sup> 未満      | 人工地表面が極めて多く、人工排熱量も多い地域。人工地<br>表面に関する対策が特に効果的な地域であり、人工排熱量<br>に関する対策も効果的な地域。 |
| A 3  |                               | 人工排熱量<br>5W/m <sup>2</sup> 未満                               | 人工地表面が極めて多いが、人工排熱量が少ない地域。人<br>工地表面に関する対策が効果的な地域。                           |
| B 1  | 人工地表面<br>50%以上<br>80%未満       | 人工排熱量<br>20W/m <sup>2</sup> 以上                              | 人工地表面が多く、人工排熱量も極めて多い地域。人工地<br>表面に関する対策が効果的であり、人工排熱量に関する対<br>策が特に効果的な地域。    |
| B 2  |                               | 人工排熱量<br>5W/m <sup>2</sup> 以上<br>20W/m <sup>2</sup> 未満      | 人工地表面が多く、人工排熱量も多い地域。人工地表面に<br>関する対策および人工排熱量に関する対策が効果的な地域。                  |
| B 3  |                               | 人工排熱量<br>5W/m <sup>2</sup> 未満                               | 人工地表面が多いが、人工排熱量が少ない地域。                                                     |
| C    | 人工地表面<br>50%                  | —                                                           | 郊外の自然地表面が多い地域。                                                             |

※1 人工地表面……人工物でおおわれている地表のこと（アスファルトなど）。

※2 人工排熱……空調機器や自動車など、人工物から発生する熱。単位はW/m<sup>2</sup>と表す。

### 資料4 埼玉県ヒートアイランド現象対策

| 対策メニュー                   |                                                  | A 1 | A 2 | A 3 | B 1 | B 2 | B 3 |
|--------------------------|--------------------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 地表面の<br>改善 <sup>ぜん</sup> | 屋上やかべの緑化や、街路樹 <sup>じょうじゅ</sup> の整備を行う。           | ◎   | ◎   | ○   | ○   | ○   | △   |
|                          | 今ある緑地や水辺の保全に努める。                                 | ◎   | ◎   | ○   | ○   | ○   | △   |
|                          | アスファルト面に、※ <sup>3</sup> 高反射率のものや<br>保水性のものを導入する。 | ◎   | ◎   | ○   | ○   | ○   | △   |
| 人工排熱<br>の低減              | 建物の断熱性を向上させる。                                    | ◎   | ○   | ／   | ◎   | ○   | ／   |
|                          | 低燃費車を利用したり、自動車の使用をひ<br>かえたりする。                   | ◎   | ○   | ／   | ◎   | ○   | ／   |
|                          | 建物の省エネルギー対策を進める。                                 | ◎   | ○   | ／   | ◎   | ○   | ／   |

◎……特に効果的である ○……効果的である △……ある程度の効果がある

※3 高反射率……太陽光にふくまれる赤外線<sup>しやうせん</sup>の光を高レベルで反射すること。

（資料2から資料4は埼玉県「埼玉県ヒートアイランド対策ガイドライン」をもとに作成）

問 あなたが花子さんなら、どのような発表原稿を作成しますか。次の条件に従って書きなさい。<sup>したが</sup>

条件1：解答は横書きで1マス目から書くこと。

条件2：文章の分量は、300字以内とすること。

条件3：数字や小数点、記号についても1字と数えること。

（例）

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 1 | . | 5 | % |
|---|---|---|---|---|

条件4：資料1から資料4のすべてにふれて書くこと。

これで、問題は終わりです。